

常山知子議員の3月議会 一般質問から

だれもが利用できる

公共交通の確立を

(質問) 公共交通対策は、町が早急に取り組む問題と考え、2回の行政視察にも参加しました。

12月議会の質問では、視察で学んだことを生かしの声をよく聞いて検討して欲しいと質問したところです。

町長はタクシー代の半額補助制度を行うという、あまりにも突然の答弁を行いました。一歩前進したとは考えますが、この補助制度は、利用できる人や地域に限られている、バスが通っていない地域で対象外になっている所もあるなど問題点があります。

この制度をスタートさせながら、行政・住民・事業者など「協議会」を発足させ皆野町にあった公共交通を考える場をつくっていただきたい。どう考えますか。

(答) 弁 視察研修などを行ない検討した結果、運転できない高齢者の外出支援として当町にあったものは、タクシーの補助制度が良いという結論に達しました。

今後、状況を、検証を行い進めていき、新たに公共交通対策会議を立ち上げる考えはありません。

国民健康保険の

広域化について

(質問) 命を守るはずの「国保」ですが、高すぎる保険税が大問題になっています。最大の原因は国の負担割合を半分減らして、国の責任を後退させてきたことです。

その為国保は、財政難、国保税の値上げ、滞納者の増加という悪循環が続いています。

きびしい現状を、市町村国保同士に助け合いをさせ、国保税の値上げ、医療費の抑制をするのが「国保の広域化」のねらいです。

① 平成27年4月から実施の給付財政の「都道府県単位化」にする法律がすすんでいますけどどこまで進んでいますか。

② 一般会計繰入れで、国保税の引き上げをすることなく、町民の負担軽減の努力を行なっていたらいい。

(答) 弁 埼玉県国保広域化の検討は、

平成18年「国保の広域化に関する研究会」を設置。平成21年、同研究会から広域化を早期に実現する。実施主体は広域連合が適当する報告書が知事に出され、現在は「第二次広域化等支援方針」の策定中です。

町では、平成24年国保税の所得割の引き上げ、資産割の引き下げの税改正を実施。

大幅な改善には及ばず財政不足は引き続き推移しており、当面は税率の引き下げは見送らざる状況です。

2013年度 特別会計

皆野町国民健康保険

特別会計予算(歳入・歳出) 12億7200万円

皆野町介護保険

特別会計予算(歳入・歳出) 9億9750万円

皆野町後期高齢者医療

特別会計予算(歳入・歳出) 1億2160万円

新米議員のひとりごと

常山 知子



3月議会が終了しました。今回は、2013年度の町の予算を決めるいつにも増して大事な議会でした。

介護予防事業費のところで、「地域の公会堂やお年寄りが集まる場所で、軽い運動と笑う健康法で、落語を取り入れた介護予防をやってはどうか」と提案しました。

皆野町は、水泳教室、ふれあいひろば、らくらく健康塾などの介護予防を積極的に行っています。

らくらく健康塾は、とても人気があり一度参加させてもらいました。交通手段がない人にはワゴンタクシーで送迎付きです。みなさんのいきいきとした笑顔が印象的でした。

この取り組みにもう少し枠を広げて、健康塾などに参加できないにも目をむけてもらいたい。

「笑いは、脳をマッサージする」と学者が言っています。

みんなで笑う！元気になると思います。来年度以降、落語を取り入れた計画を考えてみたい、という答弁でした。